



Project Sheet

横浜市立大学福浦キャンパス(医学部・附属病院) 設備更新型ESCOプロジェクト

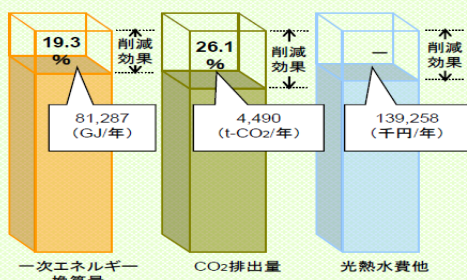
1 本プロジェクトの特長

- 01 横浜市のESCO事業公募で、JFS・川本工業グループが最優秀提案を獲得
- 02 NEDO「エネルギー使用合理化事業者支援補助金」を活用
- 03 医学部・附属病院の熱源を統合、高効率空冷HPチラー、高効率水冷INVチラー、コージェネレーションシステム他を導入することにより大幅な省エネ、省CO₂を実現しました。



横浜市立大学福浦キャンパス(医学部・附属病院)

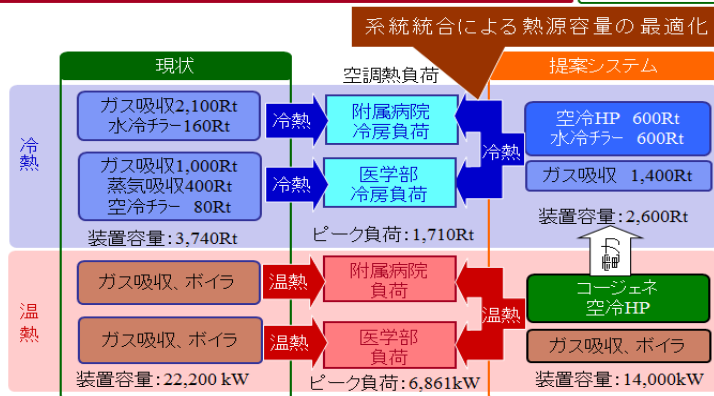
2 ESCO導入効果



(通年見込値)

熱源システムの更新

効率よく作る



3 プロジェクトの概要

- サービス種別：設備更新型ESCOサービス(W保証ESCO)
- 契約方式：シェアードセイビングス契約
- 契約期間：2010年7月～(12年間)
- 事業フォーマーション
お客さま：公立大学法人横浜市大学
事業・設計役割： JFS
建築役割：川本工業
調整・保守：三菱UFJリース

施設概要 建物用途：病院・学校 延床面積：107,222m²
竣工年月：平成3年(附属病院)、昭和61年(医学部)
建物規模：附属病院 地上11階 地下1階
医学部 地上7階 地下1階
看護学科 地上7階

4 導入した主な省エネルギーシステム

- 熱源の統合
【統合更新前】
【附属病院】ガス吸収式冷水機(700RT×3台)、水冷チラー(80RT×2台) 炉筒煙管ボイラ(4t/h×2台) 【医学部】蒸気吸収式冷凍機(400RT×1台) ガス吸収式冷水機(400RT×2台) ガス吸収式冷水機(200RT×1台) 空冷チラー(80RT×1台)、貫流ボイラ(1.5t/h×2台)
【統合更新後】
水冷INVチラー(150RT×4台)、空冷HPチラー(300RT×2台) ガス吸収式冷水機(700RT×2台)※、小型貫流ボイラ(2t/h×4台) 貫流ボイラ(1.5t/h×2台)※、水管式蒸気ボイラ(3t/h×1台)※ コージェネレーションシステム(700kW×1台) ※は既存再利用
- 医学部冷却塔の更新
- 空調用2次ポンプの変流量制御
- 冷却塔ブロー水の回収再利用
- 空調機の変風量制御
- 照明安定器の高効率化 他

注) お客さまの敬称については省略させていただいております。

日本ファシリティ・ソリューション株式会社

東京都品川区大崎一丁目6番4号 新大崎ビルディング 〒141-0032 Tel. 03-6371-2500 (Web) <http://www.j-facility.com/>